

部門別売上高

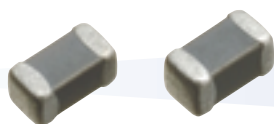


2008年3月期における当社グループの連結売上高は8,662億85百万円となり、前期8,620億25百万円から0.5%増加しました。

エレクトロニクス市場においては、薄型テレビ、家庭用ゲーム機、ノート型PC、HDD等の需要が拡大しました。加えて、これら製品の高機能化・多機能化に伴う電子部品搭載点数の増加により電子部品の需要も拡大しました。

電子素材部品部門

電子材料



● 主要製品

積層セラミックチップコンデンサ、
コイル・トランス用フェライトコア、
フェライト磁石、金属磁石

● 2008年3月期の業績概要

前期比0.4%の増収。コンデンサはPCや携帯電話向けの不振を自動車市場向けで補い、売上横ばい。金属磁石はHDD用途の伸びにより増収。

電子デバイス



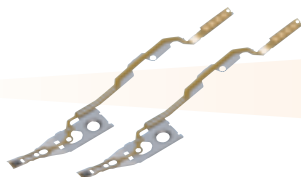
● 主要製品

インダクティブ・デバイス(コイル、トランス)、
電源製品、高周波部品、センサ、
圧電材料製品

● 2008年3月期の業績概要

前期比5.5%の増収。インダクティブ・デバイスは薄型テレビ向け、自動車市場向けで増収。高周波部品はPC向けの販売で増収。

記録デバイス



● 主要製品

HDD用ヘッド、
HDD用サスペンション

● 2008年3月期の業績概要

前期比9.8%の増収。HDD用ヘッドは販売数量が増加したことで増収。さらに、HDD用サスペンションメーカーMPT社の売上高が新たに連結対象となったことも増収の要因。

その他電子部品



● 主要製品

メカトロニクス、電波暗室、
二次電池

● 2008年3月期の業績概要

前期比31.2%の増収。電波暗室、エナジーデバイス(二次電池)及び新規事業の増収。

記録メディア製品部門



● 主要製品

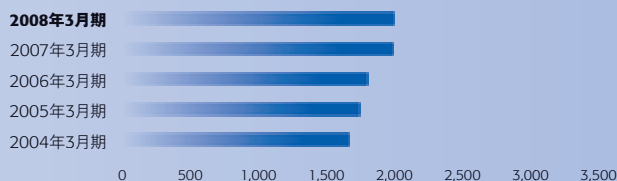
オーディオ・ビデオテープ、
CD-R、DVD、
コンピュータ用データストレージテープ

● 2008年3月期の業績概要

前期比53.3%の減収。2007年8月に記録メディアの販売事業を米国イメージーション社に譲渡したことにより売上が減少。

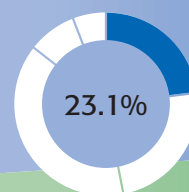
このような経営環境のなか、積層セラミックチップコンデンサ等の生産能力増強、電源事業の拡大を目的としたデンセイ・ラムダ株式会社の完全子会社化、HDD用ヘッド事業の競争力強化を目的としたアルプス電気株式会社から当事業に関する資産の取得及びHDD用サスペンションメーカーMagnecomp Precision Technology Public Company Limited (MPT社)の買収を実施しました。

● 電子材料の売上高推移 (億円)

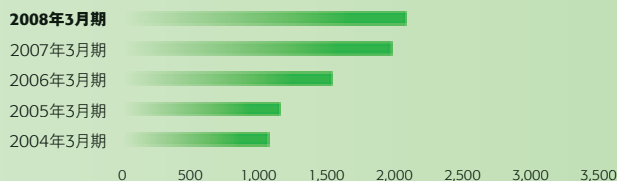


● 電子材料の売上高構成比

2008年3月期

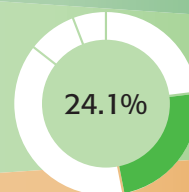


● 電子デバイスの売上高推移 (億円)

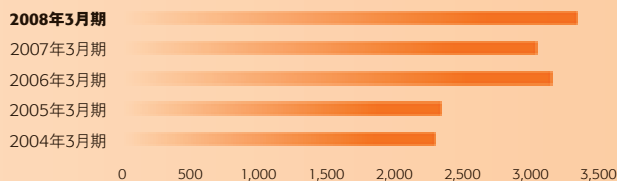


● 電子デバイスの売上高構成比

2008年3月期

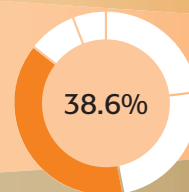


● 記録デバイスの売上高推移 (億円)

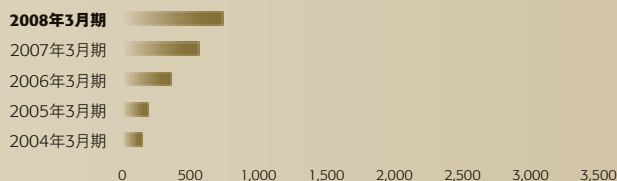


● 記録デバイスの売上高構成比

2008年3月期

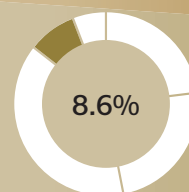


● その他電子部品の売上高推移 (億円)

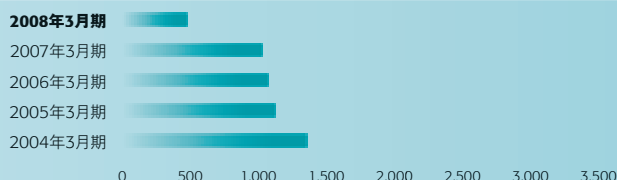


● その他電子部品の売上高構成比

2008年3月期



● 記録メディア製品部門の売上高推移 (億円)



● 記録メディア製品部門の売上高構成比

2008年3月期

